

大隅地域感染症情報

2019年第35週報（8月26日～9月1日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症：1件	該当なし
四類感染症	日本紅斑熱：2件	該当なし
五類感染症	百日咳：1件 侵襲性肺炎球菌感染症：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

- ・鹿屋保健所管内のヘルパンギーナについて、増加傾向です。
- ・志布志保健所管内のRSウイルス感染症が前週に比べて大きく増加しています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			32週	33週	34週	35週	32週	33週	34週	35週		
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.80	0.00	0.00	0.12
RSウイルス感染症	-	-	1.60	2.20	0.80	1.00	0.67	0.67	0.33	3.33	1.88	2.17
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.20	0.60	0.40	0.80	0.67	0.00	0.67	0.33	0.63	0.96
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.20	0.20	0.00	0.20	0.33	0.33	0.00	0.00	0.13	1.13
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	9.20	9.40	8.00	8.00	4.33	2.67	4.67	2.67	6.00	4.56
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.20	0.80	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.24
手足口病	5.00/2.00	-	0.60	0.80	0.40	1.80	0.33	0.33	0.33	1.00	1.50	1.07
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.20	0.00	0.33	0.00	0.00	0.33	0.13	0.87
突発性発疹	-	-	0.40	1.20	0.60	0.60	0.00	0.33	0.33	0.00	0.38	0.56
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	1.00	2.40	2.80	3.80	0.33	0.33	0.33	0.67	2.63	1.06
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.20	0.00	0.40	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.06
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	3.00	0.00	2.00						3.29
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

■ 警報基準値以上

■ 注意報基準値以上

■ 注意報基準値以上

※大隅地域感染症情報34週報内の鹿屋保健所管内の感染性胃腸炎について誤りがありましたので、訂正します。

(誤) 報告数37 定点当たり 7.40 → (正) 報告数40 定点当たり 8.00

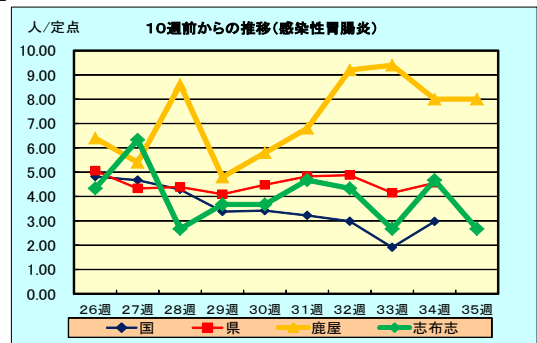
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは40名（定点当たり報告 8.00）
の報告がありました。

志布志保健所管内からは8名（定点当たり報告 2.67）
の報告がありました。

年齢別では、2歳が最多でした。



※第35週は鹿屋・志布志のみ掲載

災害時の感染症対策について

例年、全国各地で台風や大雨による浸水被害が発生しています。
災害時には、感染症の拡大リスクが高まり、家屋の清掃で感染症を発症する恐れも
ありますので、注意が必要です。
災害はいつ起こるか分からないので、事前に対策を確認し準備を行いましょう。

【 浸水した家屋の感染症対策 】

家屋が浸水した場合は、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかるおそれがある
ため、清掃が大切です。

清掃時の注意事項

- ・ ドアと窓をあけて、しっかり換気
→ 数日して自宅にもどるときは、屋内にカビが発生していることがあります
- ・ 汚泥は取り除き、しっかり乾燥
→ 消毒薬は、汚れを取りのぞいた上で使用しましょう
汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。対象物が色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合は、アルコール、塩化ベンザルコニウムを使用する。
- ・ 清掃中のケガ予防に手袋を着用
- ・ ほこりをすわないようにマスクを着用
- ・ 清掃が終わったらしっかり手洗い

感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です

※屋外（特に床下や庭など）では、消毒は原則不要です

